

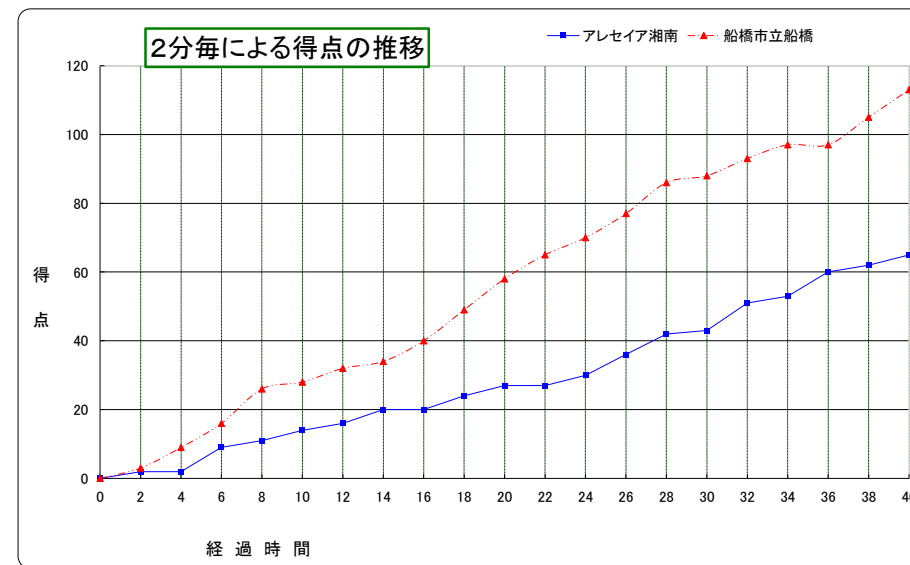
平成28年度第70回関東高等学校男子バスケットボール選手権大会

平成28年6月4日(土)
深谷ビッグタートル
Aブロック2回戦

チームA	65	{	14	1st	28	}	113	13	2nd	30
アレセア湘南 (神奈川)			16	3rd	30			22	4th	25

番号	氏名	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		スチール	アシスト	ブロックショット	ターンオーバー
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF				
4	井上 陽喜	8	0	1	3	9	2	4	3	1	3	1	0	0	3
5	安達虎太郎	2	0	3	1	4	0	0	3	0	2	2	1	0	0
6	井関 翼	6	2	8	0	2	0	0	4	0	1	0	0	0	1
7	エマニエル オヌアプチ	16	0	0	6	10	4	4	2	3	1	2	0	1	4
8	加藤 優汰	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9	石橋 玲音	6	0	0	3	3	0	0	2	1	0	0	0	0	0
10	更科 幹	11	1	2	4	8	0	0	3	1	0	1	1	1	3
11	畑 遼平	1	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0
12	高橋 憲	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13	長谷 海図	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14	草柳 陸	2	0	4	1	5	0	0	1	0	1	4	3	0	7
15	杉山 碧	4	0	0	2	4	0	0	2	1	0	1	0	0	1
16	本田 大河	9	1	9	2	3	2	2	2	0	2	1	3	0	2
17	豊田 智己	0													
18	菅澤 翔斗	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
コーチ	小田 島 誠									6	4				1
		65	4	28	22	48	9	12	20	14	15	11	9	2	22
		確率	14.3%		45.8%		75.0%		計		29				

番号	氏名	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		スチール	アシスト	ブロックショット	ターンオーバー
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF				
4	石塚 周太	13	1	5	4	5	2	3	2	1	2	1	0	0	4
5	田村 伊織	7	0	0	3	5	1	2	1	3	3	1	1	0	2
6	増田 修大	6	0	0	3	4	0	0	0	0	2	0	2	1	1
7	赤穂 雷太	9	0	0	2	5	5	6	2	3	5	2	2	0	0
8	相川 大和	12	0	0	5	5	2	4	0	1	2	1	1	0	0
9	富澤 春輝	7	1	3	2	4	0	0	0	2	3	0	1	0	2
10	畠山 功	4	0	0	2	2	0	0	3	1	0	2	2	0	0
11	島田 舜太	2	0	1	1	4	0	0	0	1	0	1	0	0	0
12	兼重 バトリック	8	0	0	4	6	0	0	3	1	2	0	0	0	3
13	保泉 遼	9	0	5	3	5	3	3	1	0	0	0	3	1	0
14	庄司 理宇	4	0	0	2	2	0	1	1	0	0	1	0	0	0
15	三上 颯斗	2	0	0	1	4	0	0	0	0	2	0	0	0	2
16	野崎 由之	16	2	6	4	5	2	3	2	5	3	5	1	0	1
17	大川 颯斗	9	1	1	3	4	0	2	1	1	2	0	1	0	0
18	大澤 響生	5	1	1	1	1	0	0	0	2	1	0	1	0	3
コーチ	近 藤 義 行									5	7				1
		113	6	22	40	61	15	24	16	26	34	14	15	2	19
		確率	27.3%		65.6%		62.5%		計		60				



戦評

外国人留学生を有し、高いオフェンス力のアレセアと、今大会優勝候補の一角である市立船橋の注目の一戦である。

第1P、アレセアはマッチアップゾーンディフェンス、市立船橋はマンツーマンディフェンスで試合をスタートする。リードしたのは市立船橋。#5のゴール下でのシュート、#6のジャンプシュートで得点する。一方アレセアは積極的にゴールを狙いに行くが市立船橋の固いディフェンスに阻まれ得点できない。さらに市立船橋は#5のインサイド、#4のジャンプシュートで着々と得点しリードを広げる。アレセアは#6の3Pシュートで何とか食らいつつも苦しい展開となる。

第2P、出だし早々市立船橋#16がインターセプトからレイアップに持ち込み得点する。このプレイで勢いが増し、激しいディフェンスから速い展開に持ち込み、#13のレイアップシュート、#4のドライブインシュートが決まり試合の流れは完全に市立船橋に傾く。アレセアは何とか食らいつつも#4がドライブインシュートを決めるが市立船橋のディフェンスを崩すことができずに大量リードを許してしまう。

第3P、市立船橋は激しいディフェンスから攻撃の手を緩めることなく得点を重ねていく。内外バランスよく攻めてリードを広げていく。何とか踏ん張りたいアレセアであるがインサイドにボールを集め得点につなげようとするが、市立船橋のディフェンスがこれを許さない。試合の流れを引き寄せることができずに苦しい状況が続く。

第4P、両チーム共ベンチメンバーをコートに出して試合を進める。ゲームの流れは大きく変わることはなく試合は進む。結局、市立船橋が勝利し、準決勝進出を決めた。市立船橋の強固なディフェンス力と高いオフェンス能力が光った試合であった。

記録者: 柘木 毅

Ref	眞榮喜 工	1st U	若林 哲	2nd U	
-----	-------	-------	------	-------	--